● 令和八年　祇園祭山鉾行事ご案内 ●

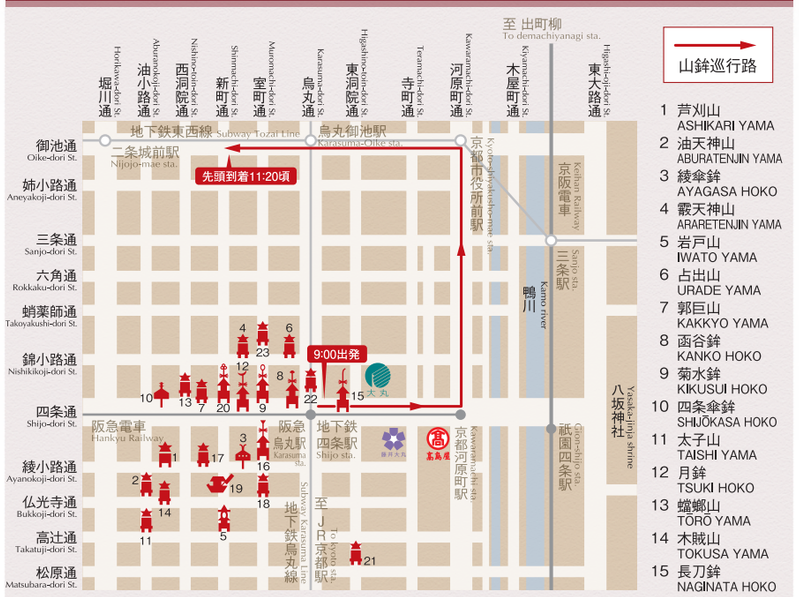
前祭巡行：7月17日　後祭巡行：7月24日

7月の四条界隈はまさに祇園祭一色。
お囃子の涼しげな鉦の音が、人々の心を高鳴らせます

■山鉾町と巡行コース案内図　Floats set-up and procession route

前祭（さきまつり）　Early Procession

7月14日～16日が宵山行事、17日に巡行
（下図の山鉾で宵山行事を行います）※15日・16日のみ歩行者天国・露店あり



山鉾巡行路

1 芦刈山 ASHIKARI YAMA
2 油天神山 ABURATENJIN YAMA
3 綾傘鉾 AYAGASA HOKO
4 霰天神山 ARARETENJIN YAMA
5 岩戸山 IWATO YAMA
6 占出山 URADE YAMA
7 郭巨山 KAKKYO YAMA
8 函谷鉾 KANKO HOKO
9 菊水鉾 KIKUSUI HOKO
10 四条傘鉾 SHIJŌKASA HOKO
11 太子山 TAISHI YAMA
12 月鉾 TSUKI HOKO
13 蟷螂山 TŌRŌ YAMA
14 木賊山 TOKUSA YAMA
15 長刀鉾 NAGINATA HOKO
16 鶏鉾 NIWATORI HOKO
17 伯牙山 HAKUGA YAMA
18 白楽天山 HAKURAKUTEN YAMA
19 船鉾 FUNE HOKO
20 放下鉾 HŌKA HOKO
21 保昌山 HŌSHŌ YAMA
22 孟宗山 MŌSŌ YAMA
23 山伏山 YAMABUSHI YAMA

山鉾の建日　（山鉾建ては、それぞれ下記の日から始まります。）

建日	山鉾名
7月 9日	長刀鉾
7月10日	函谷鉾、菊水鉾、月鉾、鶏鉾
7月11日	岩戸山、船鉾、放下鉾
7月12日	伯牙山、保昌山
7月13日	芦刈山、油天神山、綾傘鉾、霰天神山、占出山、郭巨山、太子山、木賊山、蟷螂山、白楽天山、山伏山
7月14日	四条傘鉾、孟宗山

後祭（あとまつり）　Latter Procession

7月21日～23日が宵山行事、24日に巡行
（下図の山鉾で宵山行事を行います）※歩行者天国・露店はありません

山鉾巡行路

1 役行者山 EN NO GYŌJA YAMA
2 大船鉾 ŌFUNE HOKO
3 北観音山 KITAKANNON YAMA
4 黒主山 KURONUSHI YAMA
5 鯉山 KOI YAMA
6 浄妙山 JŌMYŌ YAMA
7 鈴鹿山 SUZUKA YAMA
8 鷹山 TAKA YAMA
9 橋弁慶山 HASHIBENKEI YAMA
10 八幡山 HACHIMAN YAMA
11 南観音山 MINAMIKANNON YAMA

山鉾の建日　（山鉾建ては、それぞれ下記の日から始まります。）

建日	山鉾名
7月18日	大船鉾、鷹山、南観音山
7月19日	役行者山、北観音山、黒主山、鯉山
7月20日	浄妙山、鈴鹿山、八幡山
7月21日	橋弁慶山

四条通へは便利な公共交通でお越しください。

祇園祭の由来

祇園祭の起源といわれるのは貞観十一年（八六九年）。都をはじめ国々に疫病が流行し、人々はこれを牛頭（ごず）天王の祟りとして恐れました。そこで国の数と同じ六十六本の矛を立てて祭りを行い、神輿を神泉苑（しんせんえん）に送って疫神の祟りを祓おうとしたのでした。これが祇園御霊会（ぎおんごりょうえ）（祇園会）と呼ばれるようになります。

その後、力を付けた町衆が鉾と並んで作り山や輿を建てるようになり、応仁の乱で中断するものの、十六世紀には都の復興・有力商人の台頭とともに豪華絢爛な祭りへと発展していったのでした。

千年以上の歴史をもつ祇園祭は、東京の神田祭、大阪の天神祭とともに日本三大祭の一つに数えられ、ユネスコ無形文化遺産へ登録されています。

The Origins of the Gion Festival

The Gion Festival originated in 869 when a plague broke out in the capital of Kyoto and swept through every province in the country. Terrified, the people attributed this calamity to Gozu Tennō, a deity who not only brought plagues and disasters but who also protected against them if worshipped. A special festival was held to summon the god and transform him into a protective spirit. Sixty-six halberds, one for each province, were erected and the mikoshi (portable shrines) from Yasaka Shrine were carried to Shinsen-en Garden near the imperial palace grounds. This practice was repeated for subsequent outbreaks until it was made an annual event known as the Gion-goryōe (Gion-e).

By the Nanboku-chō period (1336-1392), the merchant class had risen in power and influence and they began to make yama floats and portable shrines in addition to huge hoko floats, which were topped by halberds. Although interrupted by the Onin War, which destroyed much of Kyoto in the mid-15th century, the capital was rebuilt by the 16th century and the festival developed into a spectacular event supported by the increasingly influential merchant class.

Along with Tokyo's Kanda Festival and Osaka's Tenjin Festival, Gion Festival is numbered among the three great festivals in Japan that have a history of more than one thousand years. Gion Festival was designated a UNESCO intangible cultural heritage.

鉾と山の構造

鉾

- ●重量/約7～9トン
- ●高さ/地上から鉾頭迄約25m・地上から屋根迄約8m
- ●車輪/直径2m前後
- ●鉾屋根/長さ4.5m・巾約3.5m
- ●石持/長さ約6m余
- ●鉾床面積/4畳半～6畳
- ●曳手/鉾の巡行の際、綱を曳く役30人～50人
- ●音頭取/お囃子と車の操作の上に立つ指揮者役2人（辻を曲る時のみ4人）
- ●屋根方/鉾の屋上で真木の動揺を加減し電線等の障害を調整する役4人

山

- ●重量/約0.5～1トン
- ●昇手/14人～24人

今年のお稚児さん

Koutaro Hase
長谷 航太郎君

7月17日の前祭の山鉾巡行で、「くじ取らず」として毎年先頭を進む長刀鉾。稚児が乗り込む唯一の鉾としても知られ、四条通麩屋町に張られた注連縄（しめなわ）を稚児が太刀で断ち切る「注連縄切り」は大きな見どころの一つです。

今年、稚児の大役に選ばれたのは、ノートルダム学院小学校3年生の長谷航太郎（はせこうたろう）君。稚児の補佐役である禿（かむろ）を務めるのは、従兄弟で同校4年生の長谷恭佑（きょうすけ）君と、同じく4年生の築地啓太（つきじけいた）君です。

航太郎君と恭佑君の祖父・長谷幹雄さんは、昭和32年（1957）、小学4年生のときに稚児を務めており、三人に向けて「毎日元気に励んでほしい」とアドバイスを送ります。航太郎君は「ちょっと緊張するけれど、注連縄切りをがんばりたい」と抱負を語ってくれました。

祇園祭の稚児　Gion Festival Chigo child

祇園祭の稚児は「神の使い」。古くから船鉾を除いたすべての鉾に生稚児が乗っていましたが、昭和4年（1929年）に放下鉾の稚児が人形になったのを最後に、現在では生稚児が搭乗するのは長刀鉾だけとなっています。祇園祭の期間中は多くの儀式が執り行われ、7月13日には長刀鉾の稚児が八坂神社に騎馬で社参し、五位少将・十万石大名の位を授けられます。17日の巡行後にこの位をお返しし、大役を終えます。

The Gion Festival's chigo child is considered to be a divine messenger. A live chigo rode on all hoko floats other than Funa-hoko until 1929 when Hoka-hoko was the last of the floats to replace the live chigo with a doll. Since then Naginata-hoko has been the only float to have a live chigo. Among the many rituals that take place during the Gion Festival period, the Naginata chigo's crucial role includes riding on a horse to Yasaka Shrine on July 13th where he is conferred the Imperial rank of Goi Shoi and Jumangoku Daimyo. He surrenders his rank after the procession on July 17th, thus completing his duties.

祇園祭のスケジュール

【7月1日～18日】
吉符入（きっぷいり）（各山鉾町）

【7月2日】
くじ取り式（くじとりしき）（京都市役所）

【7月5日】
長刀鉾稚児舞披露（なぎなたほこちごまいひろう）
（長刀鉾町）

【7月9日～14日】
前祭（さきまつり） 山・鉾建て（やまほこたて）
（各山鉾町）

【7月10日】
神輿洗式（みこしあらいしき）（八坂神社）

【7月12日～13日】
前祭（さきまつり） 山鉾曳き初め（やまほこひきそめ）・山舁き初め（やまかきそめ）
（各山鉾町）

【7月13日】
長刀鉾町稚児社参（なぎなたほこちょうちごしゃさん）
（八坂神社）

【7月14日～16日】
前祭（さきまつり） 宵山行事（よいやまぎょうじ）（各山鉾町）
※15日・16日のみ歩行者天国・露店あり

【7月17日】
前祭（さきまつり） 山鉾巡行（やまほこじゅんこう）
（9:00から、四条烏丸を起点に）
神幸祭（しんこうさい）（八坂神社～四条御旅所）

【7月18日～21日】
後祭（あとまつり） 山・鉾建て（やまほこたて）（各山鉾町）

【7月20日～21日】
後祭（あとまつり） 山鉾曳き初め（やまほこひきそめ）・山舁き初め（やまかきそめ）
（各山鉾町）

【7月21日～23日】
後祭（あとまつり） 宵山行事（よいやまぎょうじ）（各山鉾町）
※歩行者天国・露店はありません

【7月24日】
後祭（あとまつり） 山鉾巡行（やまほこじゅんこう）
（9:30から、烏丸御池を起点に）
還幸祭（かんこうさい）（四条御旅所～八坂神社）

【7月28日】
神輿洗式（みこしあらいしき）（八坂神社）

【7月29日】
神事済奉告祭（しんじすみほうこくさい）（八坂神社）

【7月31日】
疫神社夏越祭・芽の輪くぐり（えきじんじゃなごしさい・めのわくぐり）
（八坂神社境内疫神社）

※日程等は変更になる場合があります。ご注意ください。

第40回いけばな展
～祇園祭にいける～

令和8年7月15日（水）～7月17日（金）

祇園石段下～烏丸通の四条通にある店舗ショーウインドウや店内に、京都を代表するいけばな各流派の先生による作品が展示されます。ぜひご覧ください。

祇園祭にいける
いけばな展
展示店

参加店は、店頭の「いけばな展」バナーが目印です。